

質問書回答

2020年 11月 16日

「(案件名:アフリカ地域国境通過地点(BP)における感染症対策に係る情報収集・確認調査(QCBS)」
(公示日:2020年10月21日/公示番号:20a00665)について、質問の回答は以下のとおりです。

通番	当該頁項目	質問	回答
1	第2章 特記仕様書案 5. 調査実施の留意事項 (4) 「特殊傭人等によって現地ベースの調整役を確保する」 (P. 14)	「特殊傭人等によって現地ベースの調整役を確保することが望ましい」とありますが、こちらの特殊傭人費は定額で計上する「ベースライン調査実施経費及」び「パイロット活動実施経費」に含まれると想定されていますでしょうか。	ベースライン調査及びパイロット活動実施はそれぞれ別途再委託業務として行うことを想定しています。調整役はそれら再委託契約とは別に確保して頂くのが望ましいと想定しています (特殊傭人費は定額計上に含めない)。他方、再委託業務の体制如何によっては調整役も再委託契約に含める提案を妨げるものではありませんので、その場合は再委託業務の実施体制の詳細や妥当性含めて、ご提案ください。
2	第2章 特記仕様書案 5. 調査実施の留意事項 (4) EAC事務局及び各国政府担当機関との情報共有及び調整」のAdvisory Committee (P. 14)	本 Advisory Committee には、関連活動を実施している GIZ や IOM のドナーも委員として入るのでしょうか。	Advisory Committee メンバーは EAC 事務局及び加盟国政府関係者となる予定ですので、両機関からメンバーとして参加を得ることは想定とはしていません。但し、オブザーバーとして参加する可能性はあります。
3	第3章 プロポーザルに係る留意事項 1. (1) コンサルタント等法人としての経験、能力 「地熱資源調査に係る各種	「地熱資源調査に係る各種業務」は誤謬と思われませんが、正式な文章を教えてくださいませんか。	誤記があり失礼しました。以下に訂正させていただきます。 ・アフリカ地域における保健、国境管理行政に関する調査及び技術協力等各種業務

通番	当該頁項目	質問	回答
	業務」(P. 21)		
4	第3章 プロポーザルに係る留意事項 1. (3) 業務従事予定者の経験、能力 「若手育成加点は適応しません」 (P. 21)	本件で若手育成加点を適応されない理由を教えてくださいませんか。	若手活用推奨を妨げるものではありませんが、本案件は業務内容に鑑み提案内容を重要視しており、特に本案件において若手人材が必要不可欠とは考えていないため、加点对象とはしておりません。
5	第3章 プロポーザルに係る留意事項 1. (3) 業務従事予定者の経験、能力 業務管理体制の選択 (P. 21)	業務管理グループとして副総括を配置する場合、「副総括」という単体の役職として配置が可能でしょうか。 (例：副総括/感染症対策2などとする必要があるか)	副総括単体の配置はできません。副総括/感染症対策2など担当分野を指定ください。
6	第3章 プロポーザルに係る留意事項 5. 見積もり作成にかかる留意事項 「一般管理費のうち車両関連費 29,724千円」 (P. 24)	「一般管理費のうち車両関連費 29,724千円」と記載があるが、車両関連費の用途について想定されている規模感を教えてくださいませんか。	サイト調査や再委託業務のモニタリング等、現地調査での使用を想定しています。他方、新型コロナウイルスの影響により、現地調査については渡航制限を受ける可能性がありますので、別見積もり（見積もり外）としています。
7	別添 プレゼンテーション実施要領 「当日当機構へ来訪できない場合、実施場所以外からの出席を認めます。その際、「電話会議」による出席を優先してください」	「当日当機構へ来訪できない場合、実施場所以外からの出席を認めます。その際、「電話会議」による出席を優先してください」とありますが、業務主任候補者が遠隔で電話でプレゼンテーションを行い、副業務主任候補者が本部で資料を配布する形式で行ってもよろしいでしょうか。	プレゼンテーションについては新型コロナウイルス感染拡大防止に鑑み、Skype等の遠隔で実施予定です。詳細は、プロポーザル提出者に追ってご連絡いたします。

通番	当該頁項目	質問	回答
	(P. 26)		
8			

以上